明治二十三年五月二十九日印刷
明治二十三年五月三十日出版

(非賣品)

婦人衛生會雜誌

第十一號

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生會雜誌

第十一號

目次

○明治廿三年一月の演説（前號の續き） 宮本仲君

○衛生会の皆様に御相談 加藤弘之君

○婚姻に就て 大澤謙二君

○白粉之話 榊俶君

○本会録事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生會雑誌第十一號

明治廿三年五月廿七日發兌

○明治廿三年一月の演説（前號の續き）

宮本　仲君　演説　佃　與二郎　筆記

次に又西洋では一人湯に這入つて仕舞へば、次の人が這入るは湯を新らしく取代へるので御座いますが、日本ではそうは往かない、故に日本では「湯の中にてシヤボン使用すべからず」とか云ふ札を掛けて置く所がありますが、西洋人か見たら大変可笑い、右の様な譯で御座いましても、不潔な湯を浴びせる事は至極悪るい而已ならず、子供の浴をする室の内を清潔に掃除して、ランプとか火鉢とか云ふ者を段々用ゐない様にし、空氣の流通を能くして不潔物を混じない様に致しました處から自然此の病氣が（酸發感）減じたと云ふ調べもあり升故に今日に於ては是等の事を餘程能く氣を附けなければなりません」。

日本では臍の緒の落ちた當座に艾を黒焼にして臍の緒の落ちた跡へ振り掛けて綿を附けて置くと云ふ風が有ります。貴婦方の處にはそんな事は御座いますまい、下等社会の者なれば其の附け置く綿も新しい者は使はない、着物の褸けた灰色の綿をおつ附けて縛りて置きます。其の衣服と云ふは上等に用ひた品なら宜しいが、之を評すと何んな不潔な綿か知れません夫をおつ附けます、其の綿計りでも子供の身体に善くない處が艾の黒焼なんど、おまけに附けるのです、是は大変悪い様に私は思ふ、私の近頃実見した十三人の中十二人は湯の爲めに没てまして残りの一は艾の黒焼と汚綿を附た者です。そう云ふ事があるから、舊い産婆などが来て艾古綿などを附ると云ふ丈も夫れは御止めなさるが宜しい、又お臍の飛び出したのは大変見た所が善くない處て皮を内から持ち上るのをかぐ為めに縛て置きます、其の縛り方も

緩るく締めれば、太鼓様の丸きお腹でありますから搖る下ていけない、然ればと云ふて之を強く締めますれば子供の身躰には能くない中々上手に宜しい塩梅に抑へて置く事は出来ないそこで究理した産婆は膏薬を張ります其の膏薬も醫者又は工者な産婆なればよろしいが左様でなければ所謂生兵法半究理は大傷の元で御座いますの然れば猥りに膏薬を張るは禁じなければならん、なぜなれば私は之を一ツ実見致しました、臍の緒の堕た所は貴婦方も御自分ので御覧なすつたらうが、瘢痕収縮と云て臍緒の堕次第縮むのです其収縮する前には未だ新らしき創面となりて存じ居ります處て其の縮りて往く已前に膏薬を張るが膏薬の中には刺激の無い膏薬もあり又刺激の強い膏薬もある、然るに俗間に用ゐる膏薬の中には間に松脂が這入て居るです、即ち肩が張るからと云ふときに、肩に張り附ると後で赤くなるではありませんか斯の様な膏薬を小児に貼れば刺激して、チクチク致しまして次第に赤くなつて、かぶれを尚々と知らずに、臍に當てあると當座縮つて居る様に見えても其刺激の為めに膿を持つ氣が澤山となります若し膿が多くなつて来る時は、之を吸ひ取る手當てもすれば宜しいが、そんな事にも構はず綿を以て上から壓付けて置く、夫れも防腐した綿でもあれば宜しいが、其處に例の不潔な綿を當がい、夫を以て強く締めて置きますから上が乾き閉がつて膿が止まつて居る、而して次第に夫れが停滞して悪く臭くなる、夫れから段々刺激をして参り爛ます、爛れから致まして、段々酸發感の原因杯が出来る様に至るので御座います、私は此様な譯まて既に動脈の出来事が始まらんとした一小児を見て躰に戦慄を來し升た、故に松脂などの這入つた膏薬を濫りに張る事は極く悪るい事で御座いますから御氣をお附けなさらんと善く

ありません。
私しの今申した例も強ち産婆の為めでは無い、産婆は近頃委しい試験に依りて免状を受けて居りますから蓋し産婆のなした所業では御座いません何れ素人の考へより起た事と思ふが、下等社会の者なとは何んにも外に考へが無い人たから無暗に譏り近所で云ふ事を真當に受けて遂に左様の事を致すので決して私は産婆を悪し様に申すので御座いません産婆も亦た熱を附けて呉ねはならぬ事てす併し今申した様な事をなさると折角御自分で御産みなすつても又御自分で子供に病気を附ける様な事が有りますから御出入の者なとが来て艾を張れと云ひ又膏薬を張れと云つても醫者又は産婆に聞かない中に御自分になすつては悪いと云ふ丈を御忠告致して置うと思ひます」
又丹毒と云ふのも同じ事で不潔に致す處から起るので丹毒と云ふ病気は空気中の黴が傷に觸れて遂に病

を醸すのです、併し其黴は何う云ふ物と云つても目にも見えないから致し方が無い只傷の辺に觸れて来た時の事かあれは忽ち拭取ると云ふ様にして常に清潔にして置て膿でも出れは醫者から薬を貰て拭き取るか或は洗つて遣るとかと云ふ様にして繃帯なとは此くの附け無い様にして居らんでは成りません少し位寒があつても宜から繃でさへあれは何んな繃でも善からうと云ふて少しばかりの油断が大変になりますから、何うぞ此の油断をなされない様に総べて御注意なされなければなりません僅の油断が大敵です只今申し上た破傷風は百が百まで大概癒らない故に、右の様な子供が生来れは大抵は臍緒の取扱ひが悪るい為めに起つたのであると御観念なさりなければならない、併し病の起るは別段の場合なれ共若しも右の様の病氣を起させては親たる者が恥かしい事だと云ふ位は感じて極く油断が無い様に、又軽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年の御取扱ひの無い様に致したい発病は防ぐ事を得る丈け防き度存し升

又彼の臍の縛ばつた布が汚ると云ふ事は悪い又地の善い木綿を以て縛り擦れるのも悪い其れゆゑ絹が余り汚り過ぎますからは地の悪るい木綿の二度も三度も洗ひ揉んで柔らかになしたるものを當るが、宜しい是れも矢張り醫者の方で防腐した者を御用ゐなさるが宜ろしい則ち防腐した綿防腐した布杯は産婆や醫者の所にあるから之を御用ひなさるが第一です。

以上詰らん事を御饒舌り至しまして別に善い考への話しは御座いませんのに時間を費やすのは反て御氣の毒ですから私は之れで御免を蒙り後は加藤さんが御演説なさりますの

（完）

○衛生会の皆様に御相談

加藤弘之君演説大意

只今は、大澤さんと宮本さんの御話が有ましたが、大澤さんや宮本さんはお醫者様で有ますから、此の衛生会に極く適當した事を御話しに成りましたが、私はお醫者様の方の事は少しも知らない。衛生会で御話を仕様と云ふのは、衛生學と云ふ者が第一の事て、或は衛生學を十分に知らずともお醫者様の事を知て居なければならん。所が私は少しも知りません。是迄此の会には二三度も出ましたが、何時でもお醫者様の事を知らんから誠に困る。只平常お醫者様から聞て居る事などに就てお話をする位な事で御座います。先日も大日本衛生会から、強て演説をしろと云ふ事で有りましたが、矢張り御話しをする事が無いので誠に困りました、けれども出て御話を仕ましたが、前に申す通りお醫者様のやうに精しき事は知りません、併し素人でも是は大変不養生てあると云ふ丈け氣の附くことは幾らも御座います。其の事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に就て御話しを致しました、（ソレは重に男の方にある事で御婦人方には無き事であるが）、彼の西洋料理と云ふ者は大辺に定つて居て酒を飲み過す様な事は無いが、日本料理の方は西洋料理の様に定りが無いから、動もすると酒を飲み過す等の不養生をして前後を忘れる程酔ふて仕舞と云ふ様な事が沢山ある。そう云ふ様な事は悪るからうが、此の衛生会に於ては日本料理は不養生になるとか、酒の飲み様は何うするが善いとか悪るいとか云ふ事は今迄左様の御話が有つた事を聞かない、衛生会でさう云ふ事を気を附けて料理屋に往いても、日本料理で酒を飲む様な癖は直して遣るが宜からうと思ふ（人が聴かなければ幾ら八釜しく言ふても仕様が無いと云ふかも知れないが）衛生会で度々斯う云ふ御話を聞くと自然と気が附いて少しは直ると云ふ事に成ります、衛生会に其の御話があつた事は未だ聞かんが、何う云ふ事であらう」と云ふ御話をした。酔ひ倒れる程酒を飲んで不養生をすると云ふ事は御婦人方には無し、稀に有るかは知れんが多分無いと思ふから今日はさう云ふ事は言はないが、御婦人方には違ふ事柄があらうと思ひます。

ソコで其の事を一ツ御話致して見たら善からうと思ひまするが、私は先刻も御話する通り、御医者様の事に就ては精しい事は知りません、故に十分な御話をする事は出来ませんが、今日御婦人方に御相談申す眼目と云ふ者は、運動の事で御座います。デ運動と云ふのは、只身体を使ふ事で御座いまして、則ちじつとして居らずに身体を動かせる事で有りますの是は前に御話が有りましたらうし、又外の先生方にも此の事は諸賢も度々御聞きなすつたで有りませうし、又常の御話にも能く出る事で、今私が別に御話を致しませんでも、皆様御承知であるに相違な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いが、運動は大切であると云ふ事は最う大抵素人にでも解りきつた話である、（然し精しい事は解らない……私にも矢張り解らない）然し身躰を動かせるにもジッと座わつて居るよりは成丈身躰を働かせると云ふのは誠に善い事で有りますが、其の善いのはドー云ふ譯で善いとか、コー云ふ譯で善いとか言ふ事は、お醫者様に聞かなければ解りませんが、お醫者様の話を聞き、或は私が実地に試して見た所より考へても、身躰を楽にして置くよりも、働かせる方が養生に成ると思はれる。是は私の様な素人の考へにも大躰解つて居りますから、今日始め斯う云ふ様な話を聞くと云ふ御方は無からうと思ひます、善い事には違いないと云ふ事丈けは解つて居る、解かつては居るが何うも出来悪い。男は多少働きますから宜しいとして……何うして男の方は身躰も強いし、又世間に用もあるから外へ出て歩く事も澤山あり、兎も角男の方は働きますが、女は昔しから外に出ない事は悪いと云ふて、内に居る方が宜の様であつた。然し下等社会の裏店の妻君と云ふ者は、男の様に矢張り働く、是は已むを得ず働らかなければならんからであるが、何故働くかと言ふに、則ち下女も何にも使ふ事が出来ない、使ふ人が無いから子供でも澤山有る人は其子供の世話から、御亭主の世話や何かを仕なければならない、故に餘義なく身躰を働かせるので御座いますの然しながら少し上等に成つて来ると、働かないで何うも内にジツとして居る、（只怠慢て居ると云ふ譯では無いが）、裁縫をすると云ふ様な仕事斗りで、別に運動に成る程の仕事が無いから、身躰を働かせると云ふ事を遣らない、家で働かん位ですから、外へ出ても成丈歩行く事を仕ない、近頃外へ出ると人力車と云ふ者があるから、此の人力車に乗つて僅か五町位の所でも、十町位な所でも歩行か

ずして行くと云ふ事が、普通の事の様に成て仕舞ひました。昔しは（最う廿年程前）さう人力車と云ふ者は無いから、少々今の様に土を踏まずに、何處でも行くと云ふ事は出來なかつた、少し遠い所でも、矢張り歩行かなければならん方が多う御座いました、極く身分の尊い人は駕籠に乘つて歩行きましたが、是は大名か、又其れに續く様な上等な人々で、普通の人と云ふ者は駕籠などには無闇に乘りは仕ない、それゆへに用が有れば一里でも二里でも歩行なければならない事に成て居りました。故に餘程昔しの女の方は運動が出來たけれ共、今の女は何うも人力車と云ふ者があるから、五町の所でも二町の所でも、外に出ると歩行かないで、先づ乘ると云ふのが習慣に成つて、歩行く事は殆んど外ではまア無い様に成つて仕舞ました。

そう云ふ譯で御座いますから、却て身躰を動かせる事は御維新後の方が悪く成つて仕舞つたか、其の代り是迄は中等から上等の人は供を連れて出なければならなかつたのが、今は人力車に乘て往けば供は無くても宜しい様な心持になつて來た。然し腕車に乘らずに歩行く時は何でも供を連れなければ極りが悪いと云ふ塩梅であるが、其供なんぞは役に立つかと云ふと、何にも役にも立たない、恰で飾りに附て居る様な者であるから、供を連れて歩行くと云ふ事は、誠に無駄な話である。夫れから腕車に乘れば供を連れなく共宜し、且つ氣樂でもあるしするから、外へ出れば車に乘る事に成つて大抵歩行く事は無い。人力車も用を便するには大変善い、婦人方の足などで歩行いた時には十町か半里も歩行くと時間が大層掛かる、故に急用のある時には腕車は大変宜しいが、左程急がん用の時も腕車に乘ると云ふ事になると何うも身躰の為めにならん、却て弱く成ていけません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女は男とは違ふから雨の降る時や道の悪るい時は仕方がない、西洋の様に靴で歩行くと云ふ譯にも往かず、又着物の具合も違ふから、雨の降る時は誠に運動に困る。雨具と云ふ者も(有るけれども)西洋の様に十分に調ふて居りませんから、雨の降る時や又道路の悪るい時は腕車に乗ると云ふ事も仕なければなりませんが、天氣の好い時で、左程の急用も無いと云ふ時分には、可成丈け御歩行になる方が、餘程運動も附いて宜しいと思ひます、それ而已ならず、自分の心持も……大急ぎで腕車に乗つて駈けて往くより、種々の景色を眺めて静かに歩行て往く方が、心持も宜しい。殊に寒い時抔は歩行て居ると足は次第に煖かく成つてソンなに難儀では御座いません。是に反して腕車に乗つて居ると、足に運動が附かんから非常に足に寒さを感じます、(足のみならず、身躰も寒いです)。甚太い雪降りの時抔に腕車に乗て居て歩行いて居る人を見ると、「餘程寒むいで有らう」「嘸困難な事で有らう」と思ひますし、又歩行て居る人も「腕車に乗て居る人を羨ましい」と思ひますがさうでない。左程歩行て居ると寒くは御座いません、腕車に乗つて一里も一里半も往て御覧なさい、顔は寒いし又足が大変冷たく成つて、実に耐りません。それのみならず身躰の為めに悪るい。が歩行くと身躰が煖かに成り運動が附いて大変善いのです。然るに人力車の為めに今の人は大変怠慢ける様に成つたと思ひます。昔しは、譬へば芝居見に往く……芝居と云ふ者は御維新前は、猿若町のみに結合して居りましたから、麻布や芝の方から観に往くには、朝早く始まりますので歩行て往くのですから暗い中に出掛けて往かなければならんので御座いました、今こんな事を始めて聞く人は不思議の様に思はれる。今は所々方々劇場が出来て居るから、漸く芝居迄十町か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十五町位しか無いのにコゝ腕車で往く……・何うしても身躰の為めに能くないので御座います。

且近頃は食物を大層撰ぶ事に成りまして、「牛肉を食べなければならん」とか「牛乳を飲まなければならん」とか「日本の様に下等物を食べて居ては可けない」とか云ふて、追々西洋風に習ふて滋養物を食べる様に成つたが併し運動を少しも仕ない。お醫者様の説を聞て、善い物を食べては居るが運動を仕ないのです。一躰滋養物を食べて居るからは、能く働かなければ可けない、働きもせずジツとして居る位なれば、不滋養物を食べてる方が善いのです。昔しは滋養の無き物を食べて居つても、能く身躰を働かせた故に善かつたが、今は滋養のある物を食べる故に養ひには成る様だが、身躰を働かせないから、反て滋養の物を食べて居ても何の役にも立たん、役に立たんのみならず、反て身躰を悪るくする位の者で御座います、幾ら牛肉を食べても充分に身躰を働かせなかつたならば、寧ろ食べないも同じ事で御座います。醫者様に勧められたり、又学問上にて聞たりして甘い物を食べて居る方は採用するが、身躰を働かせると云ふ方は採用しないと云ふのは少し不可と思ふ。是は誰にも解らん事は無いので大抵解つて居る、知て居り乍ら身躰を働かさずに、成丈け腕車に乘ると云ふのでは仕様が無いと思ひます。平日腕車に乘る癖が附て居るから、幾ら近い所に往くにも腕車に乘らんければならんと成つて居る、腕車に乘るのも中々乙甲なもので銭も入るしするから、自然外へ出る事も加減にすると云ふ事になります。常に歩行き附けて居れば何時も出て往かれる、然しソレも昔しの様に「供を連れんければ歩行けん」となれば仕方が無いが、最う今日は封建も止み大名も無し、中等以上の人と雖も女を一人連れんければ歩行けないと云ふ様の事も

ない畢竟私は此の如き習慣は悪るい事と思ふ。少しの用は出先きに於て有るだらうが、用があるとみな供にさせて自分はなにも仕ない、自分で何も仕ないで人に命ずるから尚ほ健康に悪るいです。供を連れない時は是非自分で仕なければならないから、自然と衛生にも適うやうにならうと思ふ。又一寸した事でも供がなければ出来ん様な事では仕方が無いと思ひます。然し昔しはソレで宜しかつたが、今日の開けた世の中に成つても「さう云ふ事は成丈け昔し流にして置から「都合が宜しい人力車杯には乗らう」と云ふのは、余まり虫の好い事で、詰り此の虫の好い事が自分の身躰を悪して仕舞ふので御座います。」ソコで此前も述べたが、日本の人が美人と云ふのは色の極く青い人で、日本の美人は余程色が青い……恰も地獄から火を取りに来た様な色の青い人が美人としてある。ソコで男の方でも呉服屋の番頭、と云ふ者が、美い男で有つた、又女郎は皆な美い女である、(勿論女郎杯は美い女を撰だに相違ないけれども)其仔細は自分が運動をせずに、家の内に斗り居て外へ出て日光に照らす、身躰を少しも働かせる事を仕ない、善い空氣を吹ふ事の無い、女郎若くは呉服屋の番頭と云ふ者は皆な青くなる、青くなるから美い男美い女としてある、何うも困つた事で……西洋人は言ふです、日本の美い男美い女と云ふのは、皆病人肺病やみで有ると云ひました。西洋では成丈け色のよい骨格の好いのが美い女と云ふので有りますから、西洋人は之を主として撰ふので有ります。骨格の好い體の佳い女を撰から、從つて丈夫な子が出来る、然るに日本では之に反して身躰の弱い美人を撰ぶから矢張り弱い子が出来る、ソウ云ふ事が此近の習慣に成つて居りましたがソレではいけないの自分斗りでなく子供迄弱くなるのだから是れは最も注意

せねばなりません、勿論子供は両親ともに健康でなければなりませんが、先母親の方の胎内から出るのですから、母親の方が健康でなければ、迚も子供の健康なのは出来ないと云ふのは當前の事で有ります。」フコで私は皆様が只講釋を聞く斗りで無く、先づ成丈け手近い處へ参るにも腕車に乗る事杯は廃めて、（用のある時斗り道の泥濘い時、風の吹き雨の降時は除き）老人は仕方が無いにしてもお若い方は先づ歩行くと云ふ事に定めて戴き度いの　又供を連れなければ最初は躰裁が悪るくも少し耐忍すれば、なくなります。後から用の無い者に附て来られるのも、随分難儀な事で反て居ない方がよくなります。其上歩行いて見ると食事が進み随つて心持も能くなり、寒むい所を歩行いても身躰が煖かくなる、併し極暑杯は悪るい、極暑なれば、晩景か極く早朝かでなければならんが、急激でなく自然に之を慣して、成丈身躰を使うと云ふ様に慣れるが一番衛生上大切な事であらう、食物より運動の方が大切であると云ふ事は醫者様が言ふて居る事です。そうすると善い食物が尚は薬になります。食べて斗り居て、身躰を動かさん時は此の善い食物が却て腸胃を傷ふと云ふ事は私の様な素人にも解ります。故に此の衛生会に入らつしやる御方も天氣の好い時なれば近所の於方は衛生会に来る時杯は歩行くと云ふ様に成さるが衛生上一番手近の事で有らうと思ひます。是れは貴婦方にも多分御異論は有るまいと思ふ。「外は歩かん方が余程身躰の為めに善い」、と云ふ様な御論は恐らく無からうと存じます

亜米利加の女は欧羅巴の女より産が軽るい、統計を取つて見ると欧羅巴の女よりも亜米利加の女の方が産が何時でも軽るい、是は何う云ふ譯であるかと云ふと、亜米利加の女は能く働く、けれ共欧羅巴の女

は何うも働く事が尠いから産が重いのであるとかう云ふ事を聞きましたが、是は其外にも源因があるかわ知れませんが、亜米利加の女は常に外へも出て歩行し又妊娠中でも務めて働くが、之に反して欧羅巴の中でも英吉利杯の中等以上の女は少しも働かない、ジッとして居る故に産が重いのは、亜米利加に比べると余程多いが、日本は矢張り夫れよりもっと多いだらうと思ふ、何となれば日本人が妊娠すると少しも働かないのが癖である、故に産の為めに悪るからうと考へます、私は此事も精しくは解りませんが屹度さう云ふ結果があるに相違なからうと思ひます。先づ私の今日の御話は夫れ丈けの事で極く衛生上手近い事を御勧め致しましたので御座いますが、成丈け之を実地に御遣りなさる様にしたいと思ふの十分で無くとも成丈け心掛けてそう云ふ様にして見ようと云ふ事になれば、今日入らつしやつた御方は何れも私の申した半分でも、四半分でも宜しいから遣つて御覧なさい、幾分か利益があるに違いないから、試して御覧なさるが宜しい。私は自分で経験して居りますが、歩行くと心持が宜しい、ソレも極まつた時間があつたり又た急ぐ用のある時は仕方が無いが常に左様な事の無い時は、務めて歩行く様に致して居ります。歩行く癖が附て居ると此の間のやうに四五日も雨が降つて歩行く事が出来ないと何うも身躰の工合が悪るう御座います。極く身躰の軟弱人は仕方が無いが……私杯の身躰は、大変軟弱いと云ふでも無いが、又強壮な身躰でも御座いません、然しながら歩行く為めに幾分か強壮の方に赴むくかと思ひます。して見ると軟弱い人は尚更ら歩行くが宜しからうと考へます。貴婦方が幾らの衛生上の事を御聞きに成つても、一番手近い一番肝腎な、そうして金の入る事では無い処の歩行くと云ふ事を為らん日には、外

に衛生上利益の事を御聞きになつても役には立ちませんと思ふ。ソレから御婦人方には随分六ケ敷いのは日本の着物で有ります。此の着物が六ケ敷い、善い衣物を着て歩行くと裏が揩り切れると云ふ憂へがありますが、併し裏位は仕様がない、一躰餘り美い衣物を着ると云ふ事が悪るい、常にはそう云ふ善い衣物でなく、歩行いても差支ない様な衣物を着なければならん。ソレには少し位躰裁は忍ばなければなりません。衣物を以て競争するとか、人よりは成丈け美い衣物を着ければならんとか云ふ様な事は、(私等に衣物の美いのか悪るいのか、一向解りませんが)其辺は少しく忍ばなければ成りません。昔し流の都合の善い事斗り残こして置かずに、美い衣物は着る事は止して可成悪るい着物を着て近所を歩行くと云ふ癖を附けるのは素人の考へでも衛生上に一番手近い事であらうと思ひます。

○婚姻に就て

大澤謙二君演説

佃與次郎筆記

今日の演題は「婚姻に就て」と掲てありますが、寧ろ「婚姻の年齢に就て」と云ふ題に致す方が宜しう御座いました。

此事は先達て大学で婚姻の年齢を調べた事がありまして、夫より思付の、であります尤も其調べました事は幾歳位からして婚姻して宜しいかと云ふ事でありましたのですが、私が今日御咄を致すのは此の最早限即ち一番早いのは、何歳以上にするかと云ふ事ではない、右調査を致しました時分に、何の位の年齢になつて婚姻するのが一番可いかと云ふ事に気が附いた事があります、それを御話し致さうと存じますのです。

「婚姻に就て」と云ふ題に致しますと衛生上種々の御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

味を致しませんければならん。或は血統の者と婚姻する、此の血族婚姻は善いか悪いか、或は一生涯婚姻せずに居るか如何又た傳染病と云ふ傳り病がある人などの婚姻することは善いか悪いか抔、種々の問題が御座いまして其の全躰の御咄を為んければならん譯で御座いますか只今も御断りを致した通り、私は只、年齢だけの事に就て御咄しを致さうと云ふ考へて御座います。是れまで日本では大抵何歳位て婚姻して居るかと云ふに、是に衛生局で十六年四月から十月までに、日本都市では何歳位の人が婚姻するかと云ふ者を調査たのがありますが、此の半ケ年の間に二万二千五百九十五婚姻が御座いました。其中十二歳以上二十歳未満で婚姻したのが、男が一千三百八十八人、女が五千四百三十一人、合せて六千八百十九人、廿歳以上三十歳未満の者が、男が六千九百廿八人、女が五千三百六拾四人、合せて一万二千二百九十二人、ソレからして三十歳已上四十歳未満の者が、男が二千三百十人女が八百〇一人、四十歳已上五十歳未満の者か、男が二百二十一人、女が八十八人、五十歳以上六十歳未満の者か、男が四十四人、女が九人、六十歳以上の者が男が八人、女が九人、是程御座います、随分年若で婚姻致す者が御座いますが亦遅いのも御座ります今申し上げたのは皆初婚の者であります。

扨幾歳位の人が一番多く婚姻するかと云ふと、女子は廿歳以下が多い只今も申しました通り廿歳未満か五千四百三十一人、廿歳以上か五千三百六十四人、三十歳以上の者が八百〇一人で御座います、男は之に反して三十歳以下の者が最も多い、それからして五日程前に出板になりました統計集誌に、獨逸の「ハンボルク」州の結婚者の年齢か出ております。是を見まするとハ一々数を讀み上げるも息屈の事で御座

いますが、十六歳以上十七歳までの女子が三人、十七歳以上十八歳までが三十四人、十九歳までが九十六人、廿歳までが百七十九人、廿一歳までが二百七十六人、廿二歳までが三百六十一人、廿三歳までが三百七十七人、廿四歳までが四百十二人、廿五歳までが四百三十五人、廿六歳までが三百五十人、廿七歳までが三百零九人、廿八歳までが二百三十九人、廿九歳までが二百三人、三十歳までが百五十人と此先は略します随分齢を掩てから始めて婚姻する人もありまして、六十歳以上の人が六人あります。男の方は十八歳から十九歳までが一人十九から廿歳迄が一人廿歳から廿一歳までが廿六人、廿二歳までが七十六人、廿三歳までが百三十四人、廿四歳までが二百六十四人、廿五歳迄が三百四十三人、廿六歳迄が四百十四人、廿七歳までが四百五十五人、廿八歳までが三百七十九人、二十九歳までが三百五十六人、三十歳迄が二百七十七人夫から先は二百五十六人、二百零五人と云ふ様に次第に減ります。六十歳以上にて婚姻する人は、五人です此表には幾歳の齢の男と幾歳の齢の女と婚姻すると云ふ組合が出来て居ります、極く若い男と婆アさんと婚姻するもあり又其反對もありまして、随分見ますると面白い表で御座いますが、一々は申し上げません、只だ申し上げ様と思ひますのは幾歳が一番多いかと云ふことです今も申した通り男は二十六歳から廿七歳が一番多く、是は日本のと左程違ひは無いが女子の婚姻するのは割合に日本より晩い、日本では廿歳以下が一番多いです。欧羅巴では廿歳以上廿四五歳が一番多い、身躰の発育は人種に依ても違ひますし、又た気候に依つて違ひます、其他教育に依ても都鄙に於ても違ひがあるので御座いますから同じ西洋人でありましても国に依つてソレ〲発達が違ひます。或る方の話しで

御座いますが、印度抔では十歳で阿母さんと云ふのが御座います、随分之は早い内です、箇様な理由でありますから一躰何の位の歳に婚姻したなれば宜しいかと云ふ事は其国其處に據つて調査んければならないの所が日本では未だ充分の調査が御座いませんから幾歳が善いかと慥かに申し上げる事は餘程困難で御座います、私共が大学で調査を致しました時も據るべき材料が尠なく、答をするに困難致しました、実に此の幾歳が善いかと云ふ事は、餘程六ヶ敷き問題で御座います、欧州人と日本人と比較て見ると、日本の人は発育が早い様に思はれます、之れも慥かな材料が有つて申し上げるのでは御座いませんが、早く言つて見ると成長も早い替りには、又年の老り方も早い様です、御承知の如く欧羅巴辺で名も高く、又勢力あるものは皆な年寄で御座いますが、日本では中年の人に多い、是れは多少習慣に依りませう、日本では隠居抔と云ふ者がある早く隠居する、俗に樂隠居なとと云ふものが欧羅巴より割合に多い、未だ働けても働かんと云ふ人が澤山あります何れにしても日本人の壽命は欧羅巴人よりも短かい様です。発育が早いからとて余り早く婚姻するものは有害の者であります此事につき佛蘭西で三十四年前に調べた事が御座います、當時婚姻した者は一千三百九十三万五千三百四十六人、婚姻しない者は八十三万六千八百四十人御座いましたが、其中廿歳以下で婚姻した者は何うも死する者が多くござりました即ち廿歳以下で婚姻した女子は、一千人に十四人死にましたが婚姻しない者は僅か八人しか死にませぬ又男子は何うかと云ひますと、婚姻した者が一千人に九人、婚姻しない者は一千人に七人で男女共に婚姻した者の方が死するものが多い、ソレからして私が一々讀上げますと何うも忌屈ですから一々數は申しませ

んが）廿歳以上になつて婚姻した者の方は死する者が少なう御座います、婚姻しない者が反つて多く死ますの何国でもさうで御座いますから、日本でもさうで御座いませう、何うしても獨身者の方が死する者が多い、盗賊や放火をする如き、悪い事をする奴は婚姻しない者に多う御座います、妻子が御座いますと自然と身持ちが善くなる者で御座います。婚姻した者と婚姻しない者と比較て見ると、一躰に婚姻した者が長命を仕ます、併しながら今も申す通り廿歳以下で婚姻すると云ふと却つて其の方が死する者が多い日本ではマダ慥かの統計は御座りませんが、私の知つて居る丈けでも、何うも餘り早く婚姻した人の子供で健康な者は少ない、餘り早く婚姻するは親達に害のある事は勿論子供が弱う御座います。之に反して父三十以上母二十五歳以上の子供ハ一躰に丈夫で御座います。子供のある方は御承知でも御座いませうが、晩く生れた子は身躰も丈夫ですし、智識の付き方も早い何うも早く生れたのは遅鈍くつて弱い、或る人ハ惣領の甚六と云ふ事があるが、若い時に出来た子だからソレで甚六になるのだらうと申しましたが尤の事と思れます併し是ハ他の原因も御座りましよう。御承知の通り御維新の前には惣領と云ふ者は先づ占めたもの、家と生れると養子に遣られるか夫れが嫌なら自分の器量で獨立しなければならん、食う事の出来る様るしなければならん、惣領は親達の身代で楽々と生活せる、是だから、いくら甚六でも濟んだのでありましよう閑話休題と致しますが兎に角早婚ハ父母ハ勿論其子供にも害のあることは疑ひの無い事で御座います。ソレなれば何歳が一番婚姻するに善い時分であるかと云ふ問題が起りますが、欧羅巴では女は廿歳以上・男が廿五歳以上、是をマア普通として居ります、大学での相談では日本

でも矢張り其位が善いだらうと云ふ事で御座いましたが尤も不得止事情あるときは女子の方は或は是よりも一年や二年は早くつても大なる害はありますまい併し満十八歳以前に婚姻する事は成るべく避けた方が善いと考へます。

吾国從来の習慣にて、殊に女子が、早く婚姻したのは如何なる理由であるかと云ふ事を考へて見ましたが一番重なる原因は親にあるかと思われます。年頃の娘を持た人は小娘に小袋杯と申して婿さんを取らせるとか、嫁に遣るとかして仕舞ふまでは心配は免れません扨又男子は如何と云ふに先刻も讀上ました通り男には早婚者は割合に少ない併し稀には早過する者もあります而て其原因は種々ありましようが是にも親の了見違があるヨーです「彼奴は何うもならん嫁でも取つたら身持が直るか知らん」と云ふ考へて嫁さんを持たせる杯と云ふ事が中々ある様です、未だ修業をして居る者にお嫁さんを持たせると云ふ事が往々ある、是は誠に不都合な事である、是れ等は親の方で氣を注けんければならん事と思ひます。婚姻すれば子供の出来るのは知れた事其子の教育は誰がします、自身の躯を充分に始末する事が出来んと云ふ程の者で子供の世話が出来ましやうか、迚も満足な者にならん事は明瞭の訳しで御座います、それで御座いますから先つ成りたけ獨立が出来てから、即ち自身の躯の始末が充分につき、普通の生活が立てからして、嫁を迎へると云ふが本道である、親の方から強請て早くさせる杯と云ふ事ハ注意を致し度い事と思ひます。

欧羅巴では婚姻しない者が随分御座います、何故かと云ふに他にも原因が御座いませうが第一生活が困難で御座います、又た細君も聴かん氣の者が多う御座いまして、中々亭主を聡める、それですから男の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

方で細君ハ持ておいとあきらめるのです夫故六十の御孃様や七十の若い衆か澤山御座りますが是ハ賛めた話しでハ御坐りません。日本の様ニ生涯無配偶の者の少なきハ誠ニ結構な事でありますが唯改めたいのハ早婚の一事であります就中女子の婚期が早や過ぎる歟と存します、而して女子の監督は別して母親の方ニありますから皆様の御注意を仰ぎ度と存し右の御話しを致したので御座います　（終）

○白粉之話

榊　俶君　口述

佃　與二郎　筆記

今日は「おしろいの話し」と云ふ問題で短く御話しを致しまする。此の白粉の事ニ附きましては、前回会長より、白粉は附けて益の有る物か、害の有る物か、附けても別段ニ差支への無い物かと云ふ御話しが出て居らんから、短く話しをして呉れろと云ふ御依頼で御座りましたから、鳥渡申上ますが、全躰白粉の事は私の職務外の事で御座いまして、白粉を検査仕まするは分析術と云ふのが有りまして、其分析術ニ依りまして、白粉の中ニは何う云ふ者が這入って居つて、何う云ふ者が毒ニなると云ふ事が解かりますが、夫れを申すと私の専門外の事ニ這入りますから、鳥渡短く御話しを致しまする。

一躰御婦人方（或は中ニは男子）が白粉を用ると云ふのは何う云ふ所から起りて来たので有るかと云ふに、是れは実ニ尊ひ心から起つて来たので御座います。一躰人間は総べての動物の長となつて居ります。夫れニ從ひまして身躰の構造方も余程混雑して居る。又人間の心と云ふは動物の上に位をして居りまする。然らば人間は何ニより動物の上ニ立つて居るかと云ふニ、人間は人間だけニ持つて居る所の立

派なる所が有るからです、夫れは第一自分の身躰を美しく仕様と云ふ心、則ち是れを学問上の言葉で云ひますると、美術の心、自分の身躰を奇麗にする計りで無く自分の心の中も美しく為やうなと云ふ心が始終有ります。夫れが大切なる所の美術心であります。先づ自身の身躰から言ひますれば髪を結びまする所から、着物を服て居る所、着物を服て居るのは、暖くする為め計りでは御座いません其色も撰ぶし形も撰びます、夫れは自分の身躰を奇麗に仕様と云ふ心から起つたので御座います。夫れから未だ外に大切の美術の心、則ち自分の自然に具はりたる容貌よりも一段美しく仕様と云ふ心が有ります。是れは最も大切の事で御座います。夫れで御座いますから美術心と云ふは自分を奇麗に仕まする事、夫から身安、身躰を奇麗にする所か、らして始つて来ます。夫れよりも段々先きに進みますると、心や身躰計りでなく住家を奇麗にする、住家を奇麗にするには彫刻、畫刻、書畫、等が皆夫れに伴なつて来ます。

先づ右の美術の心が人間として第一に導ひのモウ一ッ第二番目に動物より越へて居りまする定理は、所謂道德の精神、子が親を大事にし親が子を大事にし、友達を愛すると云ふのは、道德の精神です。それから第三番になりますると宗教の心、今日の有様を以て見れば人間は必ず宗教と云ふ者は信じなければならん、自身よりも上に立つ者が無ければならんと云ふ心から、宗教と云ふ事が有る。是れは誰れでも云ふ事ですが、ア、好いお天氣になつて有難い、雨が降るから天氣にしたい者だと云ふ夫れは何が有難いか、お天氣にして呉れたのは何かと云ふと、理學などで一部分は説き明す事が出来ますが、何為斯う云ふ天氣になつたかと云ふ事は解かりません。夫故に人間の上に立つて居る者が有つて我々を支配して呉れ

ると事を考へるのが宗教を信ずる心の初端である。此三つの者が外の動物には有りません、是れ則ち人間が外の動物より長じたる所であると云ふ事の證據で御座います。

其中に一番に申上ました所の美術の心、今日の問題が其中に懸つて居りまするので御座います。白粉を附け髪を結び着物を奇麗にして居るのは人間の尊ひ所の行ひです。所が其の尊ひ所の心は宜う御座いますが、皆より為しつゝ来たりました中に何の仕方でも悉く善い又悉く悪るいと云ふは無い。白粉を附けまして奇麗になるのは大層宜いが、併し其白粉にも依り、又用ゐ方にも因り、大変に自分の身躰を悪るくする事が有りまする。今申した所の自身を美しくする（心の事は暫時申しません只自躰の事だけを申しまするが）自身の身躰を奇麗に為そうと云ふのは、最も色々の仕方が有る、朝起きて顔を洗ふ又お湯に這入つて身躰を石鹸で洗ふ、皆是れは身躰を美しくする處の仕方で御座います。斯の如く身躰を美しくしまする方法は色々有りますが殊に大切で有りまするは、髪の毛を奇麗にする事です、髪の毛の奇麗なのは、御婦人方には大切の事。第二は皮を美しくする事。第三は爪を美しく致しまする事。第四は歯を美しくする事。此四つの點が益々身躰を美しくする所の一番大切の箇所で御座います。斯う云ふ様に美しくすると云ふ美術の心の起りますのは、幼少い中は無い、生れたての赤児を御覧なさつても決して其の心持ちは無い、皮が縮くれて居りませうが、或は又頭の毛が逆さに立つて居りませうが、毫も子供はソンな事に構はない、美術の心が発しない時で开して未だ[illegible]分にはいゝと云ふ心がないのである、夫れと同じで獣物にも此の心が無い只水でも附いたとか云ふと冷たいから身躰を振つて見たり身躰を舐めたりするのです

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、所が人間が漸々生育すると、其美術の心が起り夫れと同時ニ道徳の心が出て来る、夫から又御宗旨の有難いと云ふ事が出て来ます。其時から真正の人間たるべき心が起つて来るので御座います。化粧の事ニ就て一寸爰ニ歴史上の事を申上ます。

一躰髪を結ひ白粉を附けると云ふ風の起つたのは、古い事で御座います。人間の出来たてにソウ云ふ心が起つたです。三千年以前ニ阿剌比亜人が色々の方法を以て自分の身躰を奇麗ニした事が有る。阿剌比亜からして阿弗利加ニ至り又希臘ニ渡り小亜細亜ニ移つてソレより次第ニ欧羅巴ニ渡つて来たのです。日本も同じ事で印度から支那ニ渡り、ソレより日本ニ来たので御座いますが、日本ニても昔から今日迄身躰を奇麗ニ見せ様と云ふのハ色々の仕方が流行ニ因つて違つて来て居る。今日ハ日本ニても西洋ニても其白粉を附ければ、大変ニ奇麗ニなつて居るが、皆

で云へば白粉を附けるよりハ却て顔ニ赤い者だの黒い者などで模様取りをした方が奇麗であると信じて居りました。又紅の種類、又或ハ草の根とか云ふ様な物を用ゐて、并して美しく見せると云ふ情况を著して居たのであります。昔から此レ迄始終装飾が変つて来る中ニ文身が流行り今度ハ色彩るのが流行り、又今度ハ白粉を附けるのが流行る様ニなりました。

一躰白粉を用ゐますのは身體の皮、即ち皮膚を奇麗にする所の仕方で御座います。けれ共此れは真正ニ奇麗ニするのでハなく、真正な皮を奇麗ニ仕様と云ふニは、塵埃を取り垢を取り脂肪を取り皮の表面が白くなり、皮膚が潤濃くなり、又透明る様ニ顕はしく、水を含んで居る様ニ見せるのは、一つの仕方で御座いまして是れハ真正ニ身躰を奇麗ニする法で御座います。併し白粉の方ニなればソウでハ無い、白粉ハ皮を奇麗ニせずニ皮の汚穢を覆ふ為めニ上から粉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を附けて置すのでありますから一躰の拵りが違うので御座います。矢張り美しくする所の心からして起るにハ相違ないが飾ると云ふ其の心が違ひます。元来皮膚を奇麗にする所の仕方ハ、是れハ今日の問題でハ無いが鳥渡短く申しますると、水でからだを洗ひ石鹸を遣ふ、其外身躰の「キメ」を細くしまする所の藥か有ります。就中硼砂などを基礎にして粧へた所の賣藥が有る、又所に因りますと極く新らしい所の肉類を用る事が有ります。顔などを奇麗にする爲めに極く新らしい所の肉、鳥の肉(鴉の肉)或は極く新らしい牛肉の様な者を寢る時に擦貼て置いて、朝、顔を洗うと奇麗になる。又鶏を殺して肉を擦りつけ、朝、顔を洗ひ落しますと、大層に奇麗になります。矢張り是れはキメが細くなるに大層宜しう御座います。獨逸辺で大變用ひますのは、黄瓜の露牛肉などを基礎にして色々の賣藥が出来て居る、是れを用ると必すキメが細くなる」と立派の貼札が附て居るのは皆此種類です。又米を磨た水で身躰を洗ひますのは何の害もなく、功能の有りまする事で御座います。キメも細くなりますし夫れに從つて身躰の蒸発も能くなりまするから、風を引く様な事も少くなりますので御座います。

偖て今も鳥渡申した通り白粉にも色々有りますが今日は日本の白粉の事に就て申上まする。則ち白粉は下の基礎(顔の生地)には関係せず其上を奇麗にして見せやうと云ふので、一躰白粉と云ふは今日迄人の遣つて来たのに害はない、悪い者では無いけれ共細かく檢査をして見まするど悪い所が有る。何故かと云ふに人間が呼吸をして居るは、鼻口で息をする計りでなく、皮膚が息をする一ッの機械になつて居る。随分皮と云ふ者は大切な者でありまして、則ち息をするのを助けて居ります。然るに其上に白粉など

をば以て掩ふて仕舞へば、呼吸が出来なくなる、尤もゴムや何かを塗りました様に、少しも通じ透らないと云ふ譯では無いが、只息を仕まする所の呼吸の穴を塞いで仕舞ひます。其垢に染つて幾千かの妨げは致しますけれ共、幾千かの害と云ふだけで左程酷くは有りません。況して白粉は身躰には附けません、顔と又時には両手だけで御座います。夫れで御座いますから、外の部分より息を呼吸て補つて往きます。ソコで附けまする所の白粉は、其品に因りまして、大変に人間の身體に害をなす者と、障りの無い者が御座います。

今日迄在りまする所の白粉を見ますると、(日本に限らず西洋の方のも集めて見ると)随分色々の物が有ります。先づ米の粉麥の粉を白く晒した者或は蠣の殻を焼きスツカリ細かにして是れで造るのもあり或は炭酸マグ子シヤより造るものが有ります。獨逸辺りで出来ますのは、恰度ワサビの様な種類の根が有りますが、夫れを乾し固めて牛乳で溶いて顔に擦り貼ると云ふ様子、色々の者が有ります。其中最も害に為りまするのは鉛の這入つた者で、總べて金類の這入つて居る者が毒に為るので御座います。又少しも害に為りませんものは、米の粉麥の粉蠣の貝の粉などは害が有りませんが、所謂炭酸鉛、炭酸と云ふ者と鉛と結付て居る者、夫れが這入つて居りまする者は毒で御座います。ソコで私は今日白粉の種類を少し許り持て参りました、御承知の通り白粉には大変種類が御座いますが初おしろい、雪のつや、花かゞみ、つやざくら、つやにしき、などの白粉を聚集て見ましたら。ソして此中の何れくには鉛が這入つて居るか、居らないかと検査をして見ますと(検査の仕方は別に御話し致しません)鉛の澤山這入つて居るのは「多」の字が書いて有ります、中位いのは「中」の字、少ない

のは「少」の字を書いて置きましたから能く御覧を願ひます。ソコデ白粉の好い悪るいは幾種類あるか知れませんが、今の為め顔白粉と襟白粉と持て来ました、つやましきの顔おしろいが一袋三銭で此通り價直が付いて居ります。併し價直が高ければ白粉が岐度善くつて害が無いかと云ふに價直には關係しません。此のバツチリと云ふ襟白粉は價直が廉くつて悪い品で有るかと云ふに、分析して見ますと、却て此中には鉛が少ないなど、云ふ事が有ります。

皆さんに一つ直に出来る試験の仕方をして、御参考の為めに御覧に入れます。白粉の中に鉛の有るのは何して夫れを知る事が出来るかと云ふに、元より今申した様に分析して色々の薬を灌で見ますると直に解ります、けれ共此の仕方は学問上に渉りますから、実地に遣つて見る事は面倒です、先づおしろいが好いか悪いかと云ふ事を知るのに何方でも解かる事が有ります。則ち盃に白粉を一杯灌いで置きまして夫れを貴君にかけて見ますと、何処何分有る此方は先の者よりかも何分餘計である。貫目が重ければ重い程中に鉛或は亜鉛とか金類が餘計這入つて居ると云ふ證據で御座い升。それ故重い物は怪しふ御座います、是れは小間物屋に往て御聞きになつたら、重い者が好いとか軽るい方が好いとか云ひませう併し、價直には構ひませんで貫目を見るのか宜う御座います。「殊に困つたら鉛の様な物が有りやせんか」と思つた時には、珈琲などを飲む銀の匙の上に白粉を少し載せて能く火のオコツて居る中に入れ而して之を醒して跡を拭て見ますると、好い白粉なれば銀匙に変り無く、若し其中に鉛或は亜鉛とか云ふ様な者が這入つて居りますと錆の様な者が出来ます、ソコデ濡れた布で拭きますと、後に錆が残つて此白粉の中には鉛が這入つて居ると云ふ事を知る事が出来ます。

後は分析術に渉りまするから是れだけにして置きますが一つ御目に懸けたいと思ひますのは、唐渡白粉の中に藥を濺で見ると白粉の中に鉛が有りますのは、硫化水素を灑ますると、其の白粉が真黒に為ります。若しも鉛の無い時には白粉が矢張り白く以前の通りで御座います。茲に二色の白粉が有ります（実物を示し）此方が初櫻、是れが花の雪、此の二つが何う云ふ違ひが出て来るか、先づ花の雪に濺で見ませう、（実地試験）此の通り白いから此の白粉には鉛が無いと云ふ印になつて居ります。初さくらの方も斯ういふ工合にして皆一つの仕方で致して見升と黒くなるから鉛が入りて居ます。

偖て是れよりは其毒が身體を悪くする事を御話し仕ませう。白粉の中に有りまする毒は、鉛が最も多く這入つて居ます、何為鉛が多く這入つて居るかと云ふに、鉛が余計這入れば白粉が白く能く附きます。又一つには價直も廉く製へる事が出来る（日本の白粉許りでは有りません西洋の白粉でも鉛の這入つたのが御座います）シテ見ると先づ差當り毒になると云ふは鉛です。鉛が毒になりますれは、是れが何う云ふ風に害を為すかと云ふに、是れは色々で御座いますが、最も酷く毒になつた事を御話し致します。鉛の這入た者を始終身體に附けまするど、身躰の皮の中に這入ります、所が鉛と云ふは身躰に這入ると急には外に出ません、身躰の中の人間にとつて大切なる脳だの肝臓だの、云ふ器の中に残つて仕舞のます。而して時を経るに從つて色々の変化を顕し、始めは顔色が悪くなつて来ります。是れは平生誰れでも云ふ事で御座いますが濃く白粉を附けて居ると云ふと何うも顔色が悪るくなる、即ち顔の色が只青い斗りでなく顔が粗になつて水氣が無くなり、色も黄味を含んだ青い色になる、唇の色は紫色になつて、齶や

何かから血が出る。夫れと同時に心持ちが悪い様になつて、何もするのが厭になり「モウ相談なんぞは何うでも能い、モウ何うもそんな事は面倒だ」と、只愚図々々として仕舞うのです。夫から又先きに進んで来ますると、身體が段々痩せて目が凹み、皮が凡て今まで張りて居たのが、皺が餘計に出来て来る、次は血が寡くなります。汚ない御話しだが便通が無くなつて来て、身躰が震へる、先づ手を出して居ると其手が震へる。斯ういふ様な病氣は幾干も御座いますから中々見ても何の病氣だか知れないが、モツト一段先きへ進んで来ますと、歯の痛みが始り、下腹の真中の處が大變酷く痛む、夜間も寝られず、起ても座つても居られない様な痛みで、手足が利かなくなつて仕舞う、して手がブランと下つて来ます、そして四肢が震へあがつて参り、妙な恰好に為りまするから、醫学の書物にも書て有ります。此絵で見るとお化の様です。夫れからして恰度手が利かなくなると今度は足の方に来ます、足を引ずつて歩き真実には利かない。夫れからして今度大切なのは真実の精神病になる。真正の精神病になると、心が弱りて仕舞ひ恰度氣ぬけと云ふ様に成ります。けれども今お話し仕ましたのは酷いので鉛の細工をして居るとか、或は鉛の道具を製らへる人、鉄砲の玉を製らへる人、活字を製する者杯で、白粉を附ける人では無いのですが、濃く白粉をつけます者、又始終白粉を附けて居る者が毒に罹つて、手足が利かないで居ると云ふのは、随分有るべき事である。併し只白粉を少し斗り附けても、決してソンナ害は有りません、況して顔だけの白粉、殊に近頃では濃く附ける事が流行ない、只顔に少し附けるだけの事ですから、真正の鉛が這入つて居りましても、ソンナ酷い事は無いと思ひます、けれ共夫れが衛生でありまする、少

しても危険の事があつたら、成るべく除けて居るのは衛生の肝要なので御座いますから、先づ此の鉛の這入た白粉は可成廃して夫れよりも温飩粉などを附け、人間の固有の美で飾つて、成るたけ奇麗に致しますのは悪るい事では御座りませぬ。先づ今日は是れで御免を蒙ります。

本ページは未詳のため白ページとしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本ページ（裏表紙）は未詳のため白ページとしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN